

観光画像分析による北海道上川支庁の観光振興に関する研究

【目次】

第 1 章 問題意識と研究目的	第 3 章 上川管内の観光画像の分析
第 2 章 上川管内の観光の現状	第 1 節 分析の方法
第 1 節 上川地域の全体概要	第 2 節 地域別の比較
第 2 節 上川管内の観光の概要	第 3 節 地域内の観光の特徴
第 3 節 上川管内における観光入込客数	第 4 節 上川管内の市町村別の分析
	第 4 章 要約と結論
	参考文献

【目的】

現在、日本において観光産業が大きく注目されており、観光の持つ意味は大きい。観光地の情報を得る上で最も重要なことの一つに観光画像が挙げられる。観光画像にはその地域の特徴が表れ、観光情報を得るためにはなくてはならない。そこで、本論文では北海道上川管内の各地域、各市町村が観光振興のためにどのような観光画像を用いているかを明らかにすることを目的とする。

【方法】

上川管内 22 市町村の観光画像データが均一である観光ガイドを使用し、観光ガイドから観光画像を抜き出す。そして抜き出した観光画像をいくつかの項目に分類し、上川管内の地域別、市町村別に観光画像の割合を算出した上で分析して考察していく。

【結論】

本論文の結論は、各地域・各市町村が紹介している体験型施設や自然景観などの観光画像は観光入込客数と関連していることである。

各地域に同じカテゴリーの割合が大きい観光スポットが存在し、地域が特性を生かした観光を行っている、その結果、同じカテゴリーの観光情報が多くなっている。カテゴリーの割合が大きい地域でも市町村別にみてもバラつきがあるが、その地域全体のカテゴリーの割合が大きいということから、地域の特徴を決定付ける要因となっている。

また、上川管内の地域の中で上川中部の観光入込客数が 1 番多かったことと、上川中部の体験型施設の割合が大きかったことを含めて考えると、上川中部には観光客のニーズに合った体験型施設が多く、さらには人気の高い旭山動物園もあることでその周辺の地域の観光にも良い影響を与えている。したがって、観光画像が観光客に与える影響は大きいと考えられ、観光画像は観光振興に貢献していると考えられる。

観光画像はそれぞれの地域性や特性を伝える手段として大いに活用されており、観光客にとっても重要な情報源である。本論文の分析で明らかになったように、観光ガイドブックに掲載されている画像から上川管内の各地域、各市町村の PR ポイントを捉えることができるため、観光パンフレットや観光ガイドブックなどの観光情報誌に掲載される観光画像は今後の上川地域の観光振興に大いに役立てることが出来ると考えられる。

【参考文献】

日高圭一郎, 伊藤解子, 鷗心治, 佐谷宣昭, 坂井猛, 萩島哲 『観光画像情報からみた観光資源に関する一考察 - 北九州を事例として - 』日本建築学会計画系論文集, 1998。

姫野由香, 佐藤誠治, 小林祐司, 金キョン希 『観光資源が写された景観画像の構図解析手法』日本建築学会計画系論文集, 2003。

「DO! Fit! きた北海道観光 2008」北日本広告社, 2008。